

## 日本人の優しさ

「日本人にとって、一番重要な言葉はなんですか」という質問をされれば、やはり「優しい」ではないかと考える。日本人の優しさは、家族でも、夫婦でも、友達どうしても、知らない人との間でも所々で表される。もし、日本人に「自分の恋人はどのような人がほしいですか」と聞けば、だいたいの人は優しい人が好きだと答えると思う。

優しいとは相手に対する思いやりや心遣いが十分にあると捉えられる様子だ。ここで言う優しいは、実は相手の立場から問題を考え、処理することを強調している。

日本に行くと、どこでもこのような優しさを感じられた。日本の街を歩くと、奇抜な衣装を着る人が多くいた。しかし、街の人は全然目に留めないような様子だった。日本の友達に聞くと、ずっと他人に目を凝らすと、迷惑を掛けてしまうから、と答えた。ここでも、日本人の優しさを感じられた。

スーパーに入ると、パンの売り場はいつもレジの近くにある。その理由はパンが他のものに潰れないように、レジの前に置いて最後に取りすることで、パンが一番上に来るため、安全だからだ。同じように、飲み物コーナーをレジの近くに配置し、重いものを長時間持たなくてもいいようにしている。それから、野菜コーナーは入り口の近くに配置している。その理由は旬のものが多い野菜から見た方が献立を考えやすいからだ。スーパーだけでも、優しいところがいっぱいだ。

日本のゴミ回収は世界でも有名だ。あのような細かい分別ができるのも日本人の優しさの現れだ。自分のゴミ分別をちゃんとしなければ、もっと多くの人とその部分を整理するための時間がかかってしまう。他人に面倒をかけないように、自分の部分を真面目にしなければならぬ。これも、日本人の優しさの一つだ。

それから、自分のある経験により、日本人の優しさは日本の民族文化だと感じ始めた。日本に留学していたある日、通学路を歩いていた時に、カバンの中から財布を取ったところで、不注意で紙ゴミもカバンから道に落ちてしまった。ちょうどある優しいおばあちゃんが拾ってくれて、私が「ありがとうございました」と言った後、おばあちゃんがびっくりした顔をしていたが、当時はその状況が理解できなかった。その疑問は今になって解け、「ありがとうございました」ではなく、「すみません」と言うべきだったと思う。他人に面倒をかける場合、謝るべきだからだ。

優しさは日本の生活で一番印象的なものだった。優しさは大したものではなく、ただ平日の小事だ。しかし、すべての小事も優しくするのは偉いことだ。その優しい気持ちで他人の心から伝わってきて、感謝の気持ちができた。